

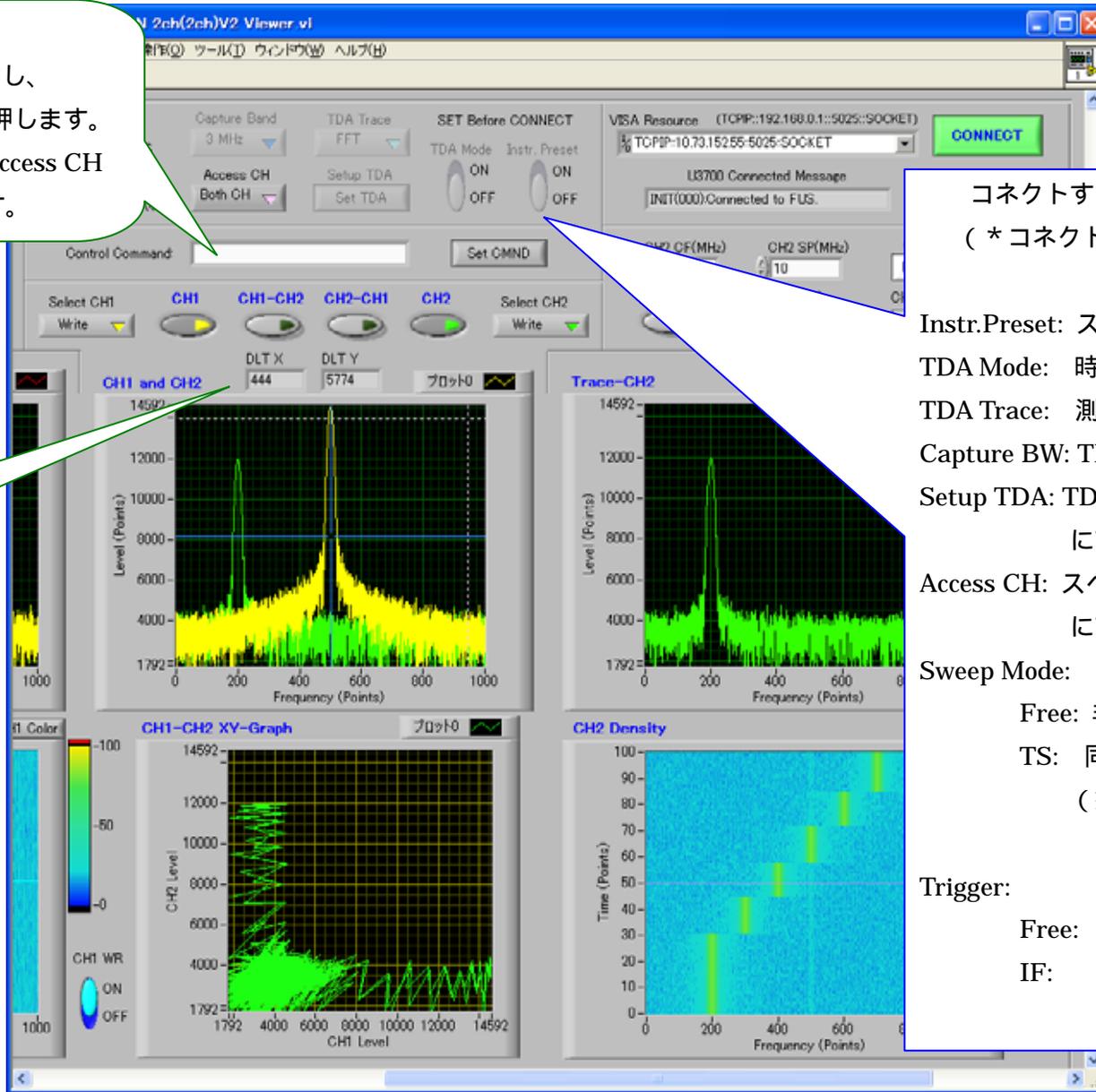
1. インストール：ディレクトリ Installer 中の setup.exe を実行します。(動作条件：Windows XP, Microsoft ネットワーク等)
2. 起動：スタート > すべてのプログラム > U3700 2ch(2ch) Graph Viewer > 2ch(2ch) Graph Viewer を実行します。
3. 測定準備：スペアナの IP アドレスを確認し、メニューの IP アドレス欄に入力します。CONNECT ボタンを押します。
4. 停止と再起動：END ボタンで停止します。そのまま終了は×ボタン、再起動は右上の [= >] ボタンを押し CONNECT ボタンを押します。
5. 下記の図面で操作ボタンの説明を行います。

The screenshot shows the software interface with several callout boxes pointing to specific features:

- 再起動ボタン** (Restart Button): Points to the [= >] button in the top right corner.
- IP アドレス入力** (IP Address Input): Points to the IP address field in the top right, with the example format: *IP Address Format: TCPIP::192.168.0.1::5025::SOCKET
- コネクトボタン** (Connect Button): Points to the green CONNECT button.
- 停止ボタン** (Stop Button): Points to the pink END button.
- 周波数設定ボタン** (Frequency Setting Button): Points to the CHG FREQ button.
- 測定周波数入力** (Measurement Frequency Input): Points to the frequency input field.
- Max,Min クリア** (Max,Min Clear): Points to the CLEAR button.
- 波形 Max,Min 表示** (Waveform Max,Min Display): Points to the CHG Max/Min buttons.
- Density Graph の書換え ON/OFF** (Density Graph Refresh ON/OFF): Points to the CHG WR buttons.
- 比較表示グラフのトレース選択: Select CH1, CH2 Write, Max, Min Display CH1/CH2 CH1-CH2, CH2-CH1** (Comparison Graph Trace Selection): Points to the CH1 and CH2 selection controls.
- スクロールで表示位置を調整します** (Adjust display position with scroll): Points to the scroll bars on the graph axes.

スペアナ直接制御：
 GPIB コマンドを入力し、
 Set CMND ボタンを押します。
 CH1/CH2 の設定は Access CH
 モードで選択できます。

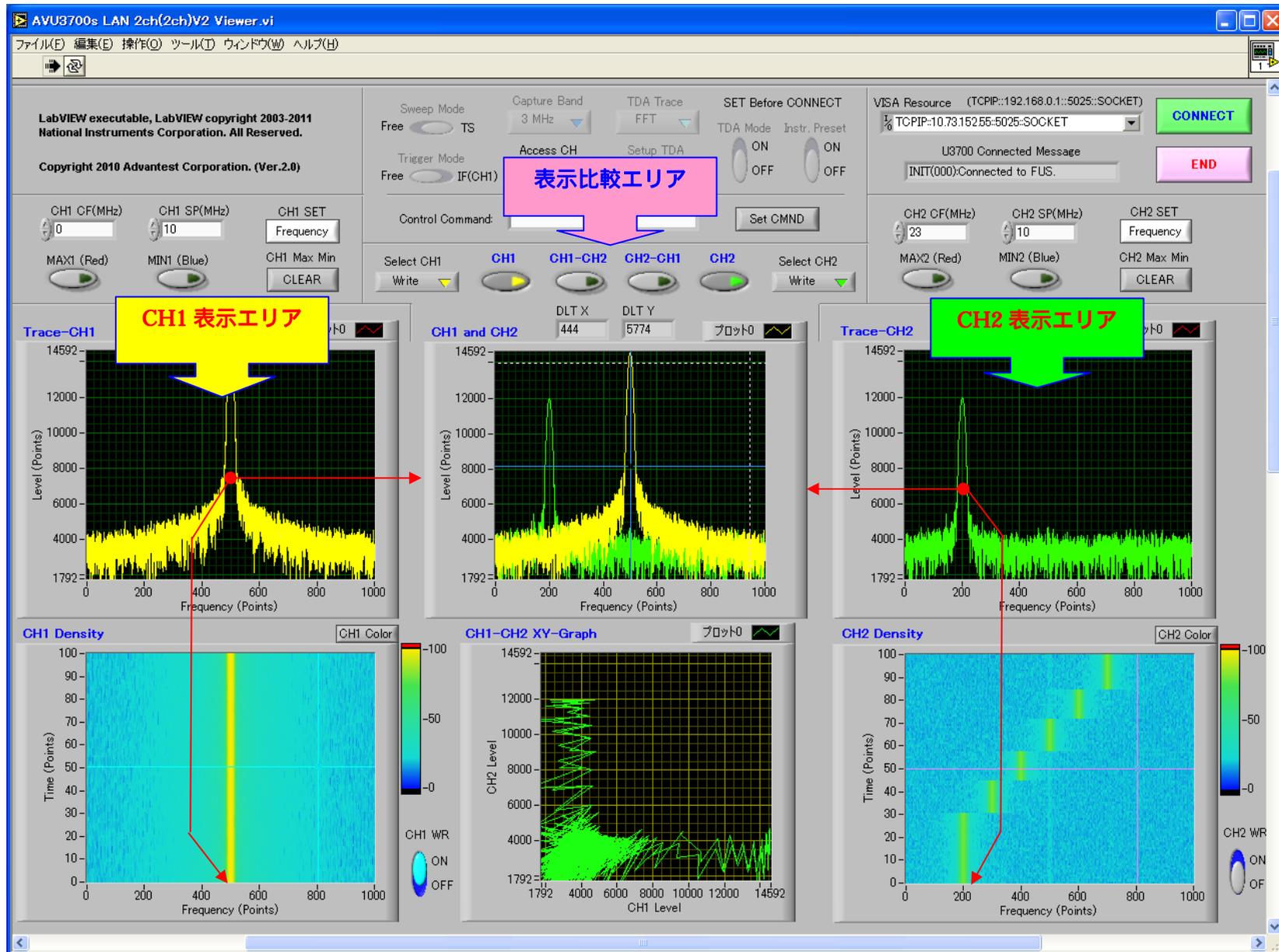
デルタ X,Y 表示
 (カーソル位置)



コネクトする前に設定する
 (*コネクト後は設定不可)

- Instr.Preset: スペアナを初期設定
- TDA Mode: 時間解析モード On/Off
- TDA Trace: 測定表示データの選択
- Capture BW: TDA 帯域幅の選択
- Setup TDA: TDA 測定条件をスペアナに設定する。
- Access CH: スペアナのどのチャンネルに設定するか選択
- Sweep Mode:
 - Free: 非同期にデータ取得
 - TS: 同期してデータ取得 (掃引終了毎に取得)
 - *Take Sweep
- Trigger:
 - Free: フリーラン
 - IF: IF に同期して掃引 (バースト波必要)

画面の左側が見えるようにスクロールバーで移動します。



画面の下側が見えるようにスクロールバーで移動します。

The screenshot shows the AVU3700s LAN 2ch(2ch)V2 Viewer.vi software interface. It features several plots and control panels:

- Top Left:** A 2D density plot showing Time (Points) on the y-axis (0 to 70) and Frequency (Points) on the x-axis (0 to 1000). A red dot is placed at approximately (800, 50).
- Top Middle:** A 2D plot showing CH2 Level on the y-axis (1792 to 10000) and CH1 Level on the x-axis (1792 to 14592).
- Top Right:** A 2D density plot similar to the top left, with a red dot at approximately (800, 50).
- Middle Row:** Three plots: CH1 Spectrum, CH1/CH2 Time View, and CH2 Spectrum View. Each has a 'プロット0' (Plot 0) button.
- Bottom Left:** A 3D density plot showing Level (Points) on the z-axis (0 to 100) and Frequency (Points) on the x-axis (0 to 1000).
- Bottom Middle:** Control panels for CH1-3D and CH2-3D, each with an ON/OFF toggle and Save/Recall buttons.
- Bottom Right:** A 3D plot titled 'CH2 3D Graph' showing Level (Points) on the z-axis (0 to 100) and Time (Points) on the x-axis (0 to 100).

Annotations and callouts:

- Top Left Callout:** A red arrow points from the red dot in the top left plot to the CH1 Spectrum plot.
- Top Right Callout:** A red arrow points from the red dot in the top right plot to the CH2 Spectrum View plot.
- Bottom Left Callout:** A green speech bubble containing text about 3D graph refresh settings.
- Bottom Middle Callout:** A green speech bubble containing text about saving and recalling density graph data.
- Bottom Right Callout:** A green speech bubble containing text about view movement and zooming.

3 Dグラフの書換え ON/OFF
演算時間がかかるので通常 OFF
となっています。必要なとき ON
にして描画が終わったら OFF に
設定してください。

Density グラフのデータを
セーブ・リコールできます。
CH1 と CH2 は独立して
います。

視点移動と拡大：
描画後、書換えを OFF にして、
マウスを移動し、左クリックで
サイコロマークを移動させます。
センターボタンで拡大縮小可能

デモンストレーション手順とグラフの説明

1. スペアナの IP アドレスを入力します。(デフォルトはスペアナをローカル接続した 192.168.0.1 になっています。クロスケーブルが必要)
2. CONNECT を押します。すぐに U3700 Connected Message 枠にスペアナからの応答が表示されます。
3. スペアナの初期設定が実行され 2~3 秒後に波形表示を開始します。(表示されない場合は一度 X ボタンで終了し接続等のチェックを行う)

- CH1, CH2 グラフ: スペアナの CH1, CH2 の独立した測定波形データが表示されます。
波形データの Max, Min 表示が可能です。(表示されてなくても演算を行っています)
Max, Min 演算データのクリアは必要なときにクリアボタンを押します。
- X - Y グラフ: 同一周波数における CH1 のレベルを X 軸、CH2 のレベルを Y 軸に配置します。(周波数は 1001 個)
もし、CH1 と CH2 が同じであれば、 $y = x$ で 45 度の直線となります。信号の周波数やレベルが変わると
いろいろな形に変わり信号の変化がひと目で分かります。(周波数ズレ、レベルズレ、帯域ズレなど)
- CH1 and CH2: CH1 と CH2 の波形が比較できます。CH1 および CH2 の波形モードを選択し、± 演算ができます。
- Density: スペクトラムを上からみて、その信号の強さを色で、時間的变化を Y 軸で観ています。
このグラフには、X カーソル、Y カーソルがあり、そこの部分のデータは別のグラフに表示されています。
Y カーソルは Spectrum View で、ある時間におけるスペクトラムが観測できます。
X カーソルは Time View で、ある周波数のレベル変化を時間軸で観測できます。
それぞれのカーソルはマウスで移動できます。また、必要なときに、書換えを OFF にしますと、ゆっくり
と観測できます。なお、このグラフのデータはチャンネルごとにセーブとリコールが出来ます。
- 3D Graph: それぞれのチャンネル・データが 3 次元で観測できます。演算に多少時間がかかりますので、観測したい
波形の書換えが終了しましたら書換えを OFF にしてください。また、マウスにより視点角度や大きさが
変更できます。